

## 「せかいいち うつしい ぼくの村」



自然が美しく、おだやかなアフガニスタンのある村にすむ少年ヤモ。ある日、村でできたくだもの売りに町へ行きました。そんなおだやかな生活の中にもいまわしい戦争のかけがが…。

★ 小林豊 作／絵  
ポプラ社 1200円

## 「ファール昆虫記の虫たち」



「ファール昆虫記」に登場する虫たち1匹1匹にもいろんな物語があります。そんな物語に、虫たちのおどろくほどカラフルで美しいイラストをそえてお届けします。

★ 熊田千佳慕 文／絵  
小学館 1900円

## 「地球のまんなか」



フリズル学級の子もたちが地球のまんなかへたんけんにかかけます。地球のまんなかには、なにがあるの？

★ ジョアンナ・コール 文、ブルース・ディーギン 絵、藤田千枝 訳  
岩波書店 1500円

## 「お母ちゃんお母ちゃーんむかえにきて」



親もとを遠くはなれて、先生と子どもの集団生活がはじまった。けんかどシラミと空ふくと、さみしさの日々はいつまで続くのだろうか。昭和19年、日本が戦争をしていたころのお話です。

奥田継夫 文、梶山俊夫 絵  
小峰書店 1300円

## 「punk マイんチャ」



ままははにいじめられているpunkという女の子が、ふしぎな力を持つヤギのおかげで幸せになるというネパールの民話。

大塚勇三 再話、秋野玄左 画  
福音館書店 800円

## 「魔女がいっぱい」



ほんものの魔女はどこにでもいる。姿かたちはふつうの女の人。でもその実体は…。魔女軍団を相手にぼくとおばあちゃんが大活やく。ワクワクドキドキ、奇想天外な物語。

ロアルド・ダール 作、クエンティン・ブレイク 絵、清水達也、鶴見敏 訳  
評論社 1300円  
(表紙は1987年刊)

## 「十二支のお節料理」



お正月をむかえるための準備を十二支の動物が順番にしています。日本の古くからのならわしが、楽しい絵で語られています。

川端誠 作／絵  
BL出版 1300円

京都市図書館では、子どもの読書活動の推進について、関係団体の皆様と『子どもの読書活動推進のための懇談会』を設け、協議しています。平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されたことを記念して、平成14年4月に子どものためのブックリスト「本のもり」を作成しました。このリストには、図書館や書店・子ども文庫で出会ってほしい本を、各年代別に30冊選びました。このブックリストが、子どもが本を読むきっかけになれば幸いです。 令和2年4月

子どもの読書活動推進のための懇談会  
・京都市小学校図書館研究会 ・京都市立中学校教育研究会図書館教育部会  
・京都市PTA連絡協議会 ・京都市子ども文庫連絡会 ・京都府書店商業組合  
・京都市私立幼稚園協会 ・京都市保育園連盟 ・こどもみらい館子育て図書館  
・京都市教育委員会 ・(公財)京都市生涯学習振興財団

問い合わせ先：(公財)京都市生涯学習振興財団<京都市図書館>  
電話 075-802-3145(総務課企画係)

★このマークのついている本は、シリーズがあります。

## ブックリスト



### <小学校中学年編>

子どもの読書活動推進のための懇談会

\*表示価格は税抜き本体価格です  
(令和2年4月現在)

## 「よあけ」



山にかこまれた湖のほとり。野じゆくするおじさんとまごの姿があるばかり。ページをめくるたび、しだいに夜が明けてゆく。そこにあるもののささやきが、静けさの中から伝わってくる美しい絵本。

ユリー・シュルヴィッツ 作／画、瀬田貞二 訳  
福音館書店 1200円

## 「車のいろは空のいろ 白いぼうし」



山ねこ先生やくまの紳士。ふしぎなお客を乗せて松井さんの空色タクシーはいったいどこまで行くのかな？

★ あまんきみこ 作、北田卓史 絵  
ポプラ社 1000円

## 「おじいちゃんの口笛」



おじいちゃんのいないベツラはある日、老人ホームですてきなおじいちゃんを見つけます。とても短いお話ですが、少年と老人の温かいふれあいが、いつまでも心にのこります。

ウルフ・スタルク 作、アンナ・ヘグルンド 絵、菱木晃子 訳  
ほるぷ出版 1500円

## 「ねむりひめ」



多くの人が知っている、グリムの昔ばなしを、ホフマンの美しい絵で語りかけます。

フェリクス・ホフマン 絵、せたていじ 訳  
福音館書店 1300円

## 「クマのプーさん」



クリストファー・ロビンのくまのぬいぐるみプーが、ロビンやなかまたちとくり広げるゆかいなお話。

A. A. ミルン 作、石井桃子 訳、E. H. シェパード 絵  
岩波書店 2800円  
(表紙は岩波少年文庫)

## 「お江戸の百太郎」



岡っ引き千次のせがれ百太郎は、父親よりも頭の回てんがよく、とり物の手伝いをしています。百太郎は、江戸の下町を舞台に犯人探しで大かつやくです。

★ 那須正幹 作、長野ヒデ子 画  
岩崎書店 1400円

## 「ひろしまのピカ」



リトル・ボーイという名の原子ばくだんが7さいのみいちゃんから幸福をうばいさりました。「ピカはひとがおとさにな、おちてこん」という言葉とともに、わすれてはならない絵本です。

丸木俊 文／絵  
小峰書店 1500円

## 「長くつ下のピッピ」



大金持ちで力持ち、左右に色のちがう長いくつ下と大きなくつをはいた9さいの女の子ピッピ。だれのまねもせず、自然でのびのびしたピッピの生き方が、私たちを魅了します。

★ リンドグレーン 作、大塚勇三 訳、桜井誠 絵  
岩波書店 1700円  
(表紙は岩波少年文庫)

## 「地球の用事」



童謡「ぞうさん」の作者として知られる、まどみちおさんの童謡集です。小さなアリから宇宙のはてまで、すべてをあたたくつつむまどさんの世界に心を遊ばせてみませんか。

★ まどみちお 著  
JULA出版 1200円

## 「日本の神話」



私たちのだれも知らない、はるか昔の日本。空のはてに、海の底に、地上に、また地の底にもたくさんの神々が住んでいた…そんな、むかしむかしのお話です。

★ 松谷みよ子 文、司修 絵  
のら書店 1500円

## 「アラスカたんけん記」



美しい写真と、具体的な文章から、アラスカの自然の厳しさが、ひしひしと伝わってきます。そんな厳しさのなか、過酷な旅をし続ける著者の情熱には、感動をよびおこす力があります。

★ 星野道夫 文／写真  
福音館書店 1300円

## 「大どろぼうホッツェンプロッツ」



おばあさんの大切なコーヒーひきが、大どろぼうのホッツェンプロッツに盗まれてしまった。彼をつかまえようと二人の少年の大活やくがはじまった。

★ プロイスラー 作、中村浩三 訳  
借成社 1000円

## 「クローディアの秘密」



アメリカ最大のメトロポリタン美術館へ家出したクローディアとジェミーがミケランジェロのなぞにいどみます。軽快な語り口で姉弟の成長をいきいきと描くゆかいで素てきな物語。

★ E.L. カニグズバーグ 作、松永ふみ子 訳  
岩波書店 680円

## 「黒ネコジェニーのおはなし」



ジェニーは黒ネコの女の子。はにかみやけど、がんばりやさん。キャットクラブに入って、ネコの学校へ行って、夜のパーティーでおどって、友だちがたくさんできます。そんなにぎやかなジェニーの毎日を楽しみながら、子どもたちは一緒に成長してゆけるでしょう。

★ エスター・アベリル 作／絵、松岡享子、張替恵子 訳  
福音館書店 1300円

## 「しずくの首飾り」



生まれたばかりの赤ちゃんが、北風からもらった雨のしずくの首飾り。この首飾りをつけておくと、決して雨にぬれることはないのです。「しずくの首飾り」の他にも、ふしぎな8つのおはなしがつまっています。

★ ジョン・エイキン 作、ヤン・ピアンコフスキー 絵、猪熊葉子 訳  
岩波書店 2200円

## 「チム・ラビットのぼうけん」



好奇心いっぱいの子うさぎチムは、毎日新しい発見をしたり、そして、ときには失敗もしたり…。心あたたまるお話のつまった一冊です。

★ アリソン・アトリー 作、石井桃子 訳、中川宗弥 画  
童心社 1500円

## 「ふしぎな木の実の料理法」



ある日届いたふしぎな木の実。食べ物らしいが、料理方法がわからない。うんざりしつつも、誰か料理方法を知らないかと、“こそあどの森”の人たちをたずね歩くスキッパーだが…。

★ 岡田淳 作  
理論社 1700円

## 「イギリスとアイルランドの昔話」



以前、あかね書房から出版された「イギリス童話集」にケルト族の昔話をくわえ、訳も手直しされて復刊された。子どもたちにも語りやすい昔話集となっている。

★ 石井桃子 編／訳、J・D・バトン 画  
福音館書店 1600円

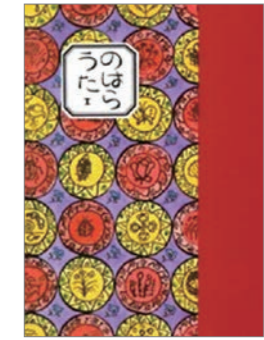
## 「レンゲ畑のまんなかで」



3年生の悦子は、ある日レンゲ畑のまんなかで、魔女につかまっているという不思議な女の子に出会って、毎日が変わります。妖精の輪にねがいをかけたり、ひみつの空き家を探検したり…。小さい女の子の目を見た、ちょっと懐かしいまちかどの冒険と魔法のお話。

★ 富安陽子 作、降矢奈々 絵  
あかね書房 1200円

## 「のはらうた」



こぶたはなこさん、こうしろうくん、かぜみつるくんなど、のはらのみんなの「し(詩)」です。ことばのリズムが心地よく、ほのぼのとした気持ちになれる一冊です。

★ くだなおこ 詩  
童話屋 1500円

## 「名まえしらべ 木の実・草の実」



野山を歩くといろいろな実と出会います。見つけたらこの本で調べてみませんか？食べられる実もあるし、毒のある実もありますよ。

★ 甘中照雄 著  
保育社 1500円

## 「がんばれヘンリーくん」



ある日、ヘンリー君はガリガリにやせて汚れた犬に出会います。その犬を飼いたくなったヘンリー君は、バスに乗って家まで犬を連れて帰るため、あれこれためてみますが…。

★ クリアー 作、松岡享子 訳、ダーリング 絵  
学研教育出版 1200円

## 「百まいのドレス」



いつもくしゃくしゃの同じ服を着る少女ワンダ。「あたし、うちに、ドレス百まい、持ってるの」からかわれてもワンダはそういいましたが、ある日突然学校に来なくなり。そして、からかいを止められなかった女の子達は、驚くほど美しいドレスの絵をワンダが描いていたと知るので。

★ エレナー・エステス 作、石井桃子 訳、ルイス・スロボドキン 絵  
岩波書店 1600円